

2018年7月11日

三井化学株式会社

ESG 投資のための3つの株価指数の構成銘柄に採用

三井化学株式会社（代表取締役社長：淡輪 敏）は、昨年に引き続き FTSE Russell 社による「FTSE Blossom Japan Index」、米国 MSCI 社が開発した「MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数」および「MSCI 日本株女性活躍指数（WIN）」の3つの株式指数の構成銘柄に採用されました。

この3指数は、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の要素に配慮した投資である「ESG 投資」のための株価指数として公募し、選定したものです。

今回、3つの株価指数の構成銘柄に採用されましたが、当社はこれまでに、「FTSE4Good Index」の他、や、損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント（SNAM）が運用する「SNAM サステナビリティ・インデックス」等の社会的責任投資（SRI）インデックスにも採用されています。

当社は、ESG 要素の経営・戦略への組み込みとステークホルダーの皆様への情報開示を強化するため、本年4月に「ESG 推進室」を新設しました。また、当社グループの製品・サービスの環境・社会への貢献を示す「Blue Value[®]」と「Rose Value[™]」^{*}の定量目標を設定し、認定製品の拡大を推進しています。

今後も、事業活動を通じた社会課題解決を図ることにより、社会と三井化学グループの持続可能な発展を目指してまいります。

^{*}三井化学グループが提供する製品・サービスを、用途別に独自の指標で評価し、環境貢献価値の高いものを「Blue Value[®]」、QOL（生活の質）向上貢献価値の高いものを「Rose Value[™]」として認定。



「FTSE Blossom Japan Index」は、ESG の対応力に優れた日本企業のパフォーマンスを反映する Index で、国連の持続可能な開発目標 (SDGs)等国際基準に準拠しており、既に国際的に高く評価されている FTSE4Good に沿った ESG 基準が採用されています。また、業種ニュートラルとなるように設計されています。



「MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数」は、MSCI の ESG 格付けを活用し、各業種において ESG 評価が相対的に高い企業で構成されます。



「MSCI 日本株女性活躍指数 (WIN) 」は、MSCI のテーマ別指標として、各業種から性別多様性スコアが高く、女性活躍への取組みを推進している企業で構成されています。

以上

<本件に関する問い合わせ>

三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 (TEL : 03-6253-2100)